

全日本大学選抜3-2全韓国大学選抜

ロスタイム、逆転ゴールを決めた田代(左から2番目)を祝福する選手たち

(カメラ・野澤俊介)



▲試合後、昨年の雪辱をはらした中後は喜びを語った
◀韓国先制点の直後、同点ゴールをたたき出した小林(左)



日本大学選抜 雪辱晴らすロスタイムの劇的勝利！！

デンソーカップ ～Jへの登竜門～

デンソーカップとはサッカー全日本大学選抜と全韓国大学選抜が対戦する大会。今回から「第1回日韓定期戦」と名称が改まった。そもそもデンソーカップは大学からプロ=Jリーグを目指す選手にとって欠かせない飛躍の場である。近年、駒大からも深井正樹(現・鹿島)、巻誠一郎(現・市原)、中田洋介(現・仙台)、橋本早十(現・大宮)ら、他大では流経大の阿部吉朗(現・東京)、東学大の岩政大樹(現・鹿島)らがJへの足がかりを築いた。また、97年には韓国代表の安貞桓(横浜)、01年には日本代表の坪井慶介(浦和)も出場していた。デンソーカップはプロを目指す選手にとって重要な意味のある大会なのである。

4月4日 13:30 国立霞ヶ丘競技場

日本 3(2-1-0) 2 韓国

得点者(アシスト)

【韓】8分:ハン・ジョンウン(キム・ジョンホ)
【日】11分:小林亮
【韓】21分:チェ・ソンヒョン
【日】44分:江添建次郎
【日】89分:田代有三(藤本淳吾)

JAPAN	KOREA
GK②阿部伸行(2)	GK①チョ・ミンヒョク(4)
DF②小林 亮(4)	DF③キム・ジェヒョク(4)
DF④江添建次郎(4)	DF⑤ファン・ジュン(3)
DF③登尾顕徳(3)	DF⑥パク・ピョンギョク(4)
DF⑤深谷友基(4)	MF⑦チェ・ソンヒョン(4)
MF⑦中後雅喜(4)	MF⑩ハン・スンヒョン(2)
MF⑨前田雅文(4)	MF⑫キム・ヨンスム(4)
(56分⑩高橋大輔(3))	MF⑮キム・ジョンホ(4)
MF⑮藤本淳吾(3)	MF⑰イ・ギョ Chol(4)
MF⑮川田和弘(4)	MF⑱ハ・スンヨン(3)
FW①原 一樹(2)	(85分⑳ツ・ジョンチャン(4))
FW⑥赤嶺真吾(3)	FW⑳ハン・ジョンウン(3)
(45分⑩田代有三(4))	(?分㉑チヤ・ゴベヨム(4))
S U B	S U B
GK①竹内和也(4)	GK③チョ・ジョンヒ(2)
DF③藤田義明(4)	DF④キム・テゴン(4)
DF⑤長野 聡(4)	MF②キム・インギョ(4)
MF⑧保坂一成(4)	MF③パク・スンヨン(3)
FW⑦久保田 学(4)	FW④キム・サンギ(4)
MANAGER 乾 真寛	MANAGER ハン・ムンバ

警告(C)/退場(S)

【駒】20分:登尾顕徳(C)、46分:川田和弘(C)
【韓】76分:ハン・スンヒョン(C)、89分:チェ・ソンヒョン(C)

[シュート]12:7 [CK]8:18[FK]5:3 [PK]0:0[直接FK]18:21
[間接FK]6:2[OS]5:2
[主審]塩川拓司 [観衆]約3800人

※上記データは全て左側の数字が全日本大学選抜。名前の横のカッコは学年。



（永峰 綾）

激闘制し日本逆転勝ち！

小雨の降る肌寒い気温のなか始まったデンソーカップサッカー。駒大から選出された中後、小林、赤嶺、原の4人はスターティングメンバーで出場。日本は序盤から積極的な攻めの姿勢を見せる。しかし先制したのは韓国。キム・ジョンホが中央からふわりと浮かせたパスをゴール前に放り込む。日本選抜GK阿部は判断を誤り転倒。そこへ走りこんできたハン・ジョンウンが右足で押し込んだ韓国先制。「予想外の失点だった」(小林)。

だが日本はすぐさま反撃開始。11分、川田からのパスを赤嶺がシュート。惜しくもパーにはじかれるもののそこへ詰めていた小林の決め押しへのディングシュートで同点に追いつく。

その後一進一退互角の勝負を続ける両チーム。試合が再び動いたのは21分。韓国ハン・ジョンウンがゴール前中央で倒され得たFKのチャンス。キッカーチェ・ソンヒョンが放ったボールは直接ゴールへと吸い込まれていった。またも先行した韓国は勢いそのままに攻め続ける。苦しい時間帯が続くがなんとか耐えた日本に前半終了間際のロスタイム、チャンスが訪れた。ゴール前の混

戦から江添がゴール。ゲームを振り出しに戻し前半終了。後半に入ると両チーム疲れが見えてきたのか試合はスローペースで進んでいった。日本は後半、赤嶺に代わって入った田代が起点に攻めようとするも中盤が間延びし得点が生まれない。雨がますます強くなり、試合はロスタイムに突入。誰もが延長戦を予想していた。しかし歓喜はまたもロスタイムに訪れた。右CKからの藤本のボールはゴール前で待っていた田代のもとへ。田代はそれを頭でしっかりと合わせ奇跡の逆転。そして試合終了。日本イレブンには田代に駆け寄り喜びを爆発させた。

「去年負けた悔しさがある分、勝って嬉しい」(中後)。「厳しい内容の試合だったけどチャンスを生かしたっていうのは意味のある試合だと思う」(小林)。カタールでの国際大会、そしてイングランド遠征で培ってきたものが全て結果となってあらわれた試合だった。彼らはこの貴重な経験をもとに更なる飛躍を遂げられるだろう。(永峰 綾)

発行人 永峰 綾
スタッフ 野澤俊介
越智千絵子
山本麻紗子

FORZA駒沢は毎週金曜に発行！
便利、感想、バックナンバー希望などはこちらまで
〒154-8525 東京都目黒区駒沢1-23-1 駒沢大学マスコミ研究所内
大スポーツ・サッカー部
Eメール forzacomazae@ptmail.com

次節は駒沢で順天堂大と対戦！

<日程> 4月17日(土) 12:00~
<場所> 駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場
<相手> 順天堂大学
●東急田園都市線「駒沢大学」下車、徒歩10分。駒沢オリンピック公園方面出口を出たら、すぐ前の道を右折して直進。左手に国立第二病院が見えてくると、その向かいが駒沢陸上競技場

【表彰選手】

◇最優秀選手、ベストFW
田代有三(福岡大)

◇ベストGK
阿部伸行(流経大)

◇ベストDF
江添建次郎(桃山大)

◇ベストMF
チェ・ソンヒョン(湖南大)